



小学生・中学生の皆さんへ

あらかわ区報 Jr

ARAKAWA KUHO JUNIOR

2023年[令和5年]

5.26

No.154

ジュニア

発行：荒川区
発行部数：23,000部
〒116-8501
荒川区荒川2-2-3
☎(3802)3111

あらかわ区報Jr.は
荒川区ホームページで
ご覧になれます

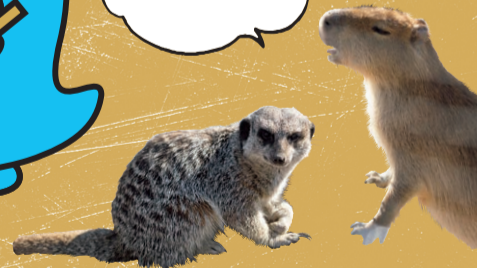
<https://www.city.arakawa.tokyo.jp/a004/kouhou/kuhoujr/arakawakuhojr.html>



見たい! 知りたい!
飼育員さんのおしごと!



よろしくね



令和4年4月にリニューアルオープンしたあらかわ遊園。新しくなったのは、アトラクションだけではなく、いろいろな動物を見て、触れ合える、「どうぶつ広場」も新しくなりました。そこで今回、尾久西小学校6年生のジュニア記者が、あらかわ遊園のどうぶつ広場を訪問。どうぶつ広場で働いている飼育員さんがどんな仕事をしているのか、教えてもらいました。

問い合わせ 荒川遊園課 ☎内線473



みんなの願いがこぼれて...

次は7月に発行する予定です

動物のお世話だけじゃない! 飼育員さんの1日のスケジュールを



今回、案内してくれた飼育員さんはこちら!
子どものころから動物が大好き。家では動物を飼えなかったため、動物園によく行っていた。専門学校でいろいろな動物について学び、飼育員の道へ。



後藤郁恵さん



たくさんの動物と触れ合えるよ!

どうぶつ広場ではほかにこんな動物が待っています

吉永悠月さん

「どうぶつ広場」には、ポニーやカビバラ、アルパカやカンガルー、ミーアキャットなど、たくさんの動物がいます。あらかわ遊園に行ったときは、ぜひ、どうぶつ広場にも足を運んでください。



ミーアキャット

ポニー



会いに来てね

カビバラ



アルパカ



カンガルー

あらかわ遊園ご案内



西尾久 6-35-11
☎3893-6003
詳しくはホームページをご覧ください。



あらかわ遊園 検索

お仕事体験ががんばるぞ

佐藤心弥さん

開園前から仕事が盛りだくさん!

飼育員さんの1日は、どうぶつ広場の開園の準備からスタート。まず、前日に動物のお世話を担当した飼育員さんが書いた飼育日誌を読んでから、動物たちの体調確認や部屋の掃除に取りかかります。そのほかにも開園までにやるのがたくさんあり、朝から大忙しです。



▲毎朝必ず、飼育日誌を確認します。動物たちの前日の様子や体調が記されていて、とても重要なものです

▼動物たちは、夜間はそれぞれの部屋で過ごします。部屋の状態を見ると動物たちの体調が分かるそうです



▲ブラッシングで体の汚れを落とし、毛並みを整えます。ジュニア記者がブラッシングをすると、とても気持ち良さそうにしていました

しっかりと掃除をして広場内を清潔に!

岡本香澄さん



閉園後も仕事があるんだね

閉園後は、動物たちをバックヤードの部屋まで移動させます。その後、ヤギたちがいるふれあい広場や、ウサギたちがいるふれあいコーナーをすみずみまでお掃除。最後にミーティングをして飼育日誌を書き、1日が終わります。



▲ふれあいコーナーのモルモットをカゴに集めて、部屋へ運びます

▼大人のヤギやヒツジは、扉を開けて鈴を鳴らすと順番にお手洗よく移動してくれました



▲ポニー乗馬が終わった後、でこぼこになった地面を平らにならす作業はなかなかの重労働!

8:00 出勤

9:00 あらかわ遊園開園

10:00 どうぶつ広場開園

15:30 どうぶつ広場閉園

16:45 ミーティング・事務作業

17:00 退勤

あらかわ遊園閉園(夜間閉園日は20時まで)

今回は特別に区報Jr.の取材時間内で1日の業務の体験をさせてもらいました。



1日の準備をしっかりと!

榎原裕人さん

動物の体調確認

「おはよう」と声をかけてからゆっくりとケージの扉を開け、動物たちの体調や、ケガをしていないかを確認します。



▲飼育員さんがいることに気が付くと、元気があるフリをする動物もいるそうです

ポニー乗馬準備

ポニー乗馬が始まる前に、乗馬用の鞍(サドル)を装着します。ポニーが驚かないようにゆっくり、慎重に行います。



▲ポニー担当の飼育員さんがそばにいたので、ポニーは安心して身を任せてくれました

掃除

動物を外に移動させて、各ケージを掃除します。このとき、フンの状態やエサの食べ残しがないかもしっかり確認!



▲ケージの奥から汚れをかき出してキレイにします

エサ作り・エサやり

エサは、ケージ内で食べる動物と外で食べる動物がいます。食事の時間に食欲のない動物がないかをチェックします。



▲モルモットとウサギには、小動物専用のフードに専用のふりかけをかけたエサを作りました

おやつ作り

来園者に販売する、動物のおやつ作り。キャベツやにんじんをカットして、カップに取り分けます



▶お腹を空かせたモルモットたちの部屋にエサを選びます。手をかまれないよう注意!

ふれあい体験



▲ふれあい体験では、飼育員さんがモルモットを抱っこして、来園者のひざの上まで連れていきます

おやつ



▲飼育員さんは、来園者に「おやつをあげるときは Tongue を使ってね」と伝えたりして、危険がないように見守ります

掃除



▶ヤギたちがいるふれあい広場では、散らばったフンを掃除してキレイにします。飼育員さんに構ってほしくて、近づいてくる動物も!

体験を終えて

▶佐藤さん「動物が好きなので、今日の取材がとても楽しかったです。普段は見ることができない飼育員さんの仕事を体験できたのと、久しぶりに動物と触れ合えて楽しかったです」
▶榎原さん「動物のお世話だけでなく、重労働もたくさんあって驚きました。みんなが楽しめる工夫をしてくれていると知って、飼育員さんを尊敬する気持ちが大きくなりました」
▶吉永さん「動物がちよっと苦手だったけど、好きになりました。取材に参加しました。動物のかわいさをより知ることができ、飼育員さんの仕事の裏側まで見られて嬉しかったです」
▶岡本さん「エサがほしくて近づいてくるヤギがかわいかったです。次にどうぶつ広場に遊びに来たときは、今まで以上に飼育員さんへの感謝の気持ちを持って楽しみたいと思います」



Topics

「奥の細道矢立初めの地 子ども俳句相撲大会」の撮影を行いました

3月11日と12日、荒川ふるさと文化館で「奥の細道矢立初めの地 子ども俳句相撲大会」の撮影を行いました。

区では、松尾芭蕉が奥の細道の旅へ出発するときに、南千住で矢立初めの句を詠んだことにちなみ、毎年この大会を開催しています。

大会では、区内の小学校15校から応募があり、2人1組で121チームが参加しました。その中から予選を勝ち進んだ12チームが決勝戦へ進みました。決勝戦では、「椿」「風車」というお題で、個性あふれる俳句を詠み、パフォーマンスを披露しました。

また、決勝戦で詠んだ俳句を素盞雄神社の木札に書き、代表者が素盞雄神社境内にある松尾芭蕉の碑に報告をしました。

この時に撮影した動画は、荒川区ホームページから見る事ができます。ぜひ、見てくださいね。



▲優勝チームのパフォーマンス



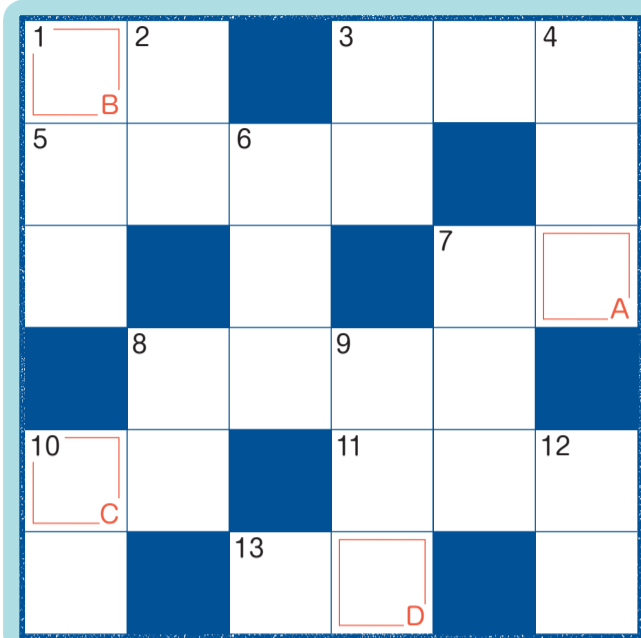
▲松尾芭蕉の碑へ報告をしました

挑戦しよう！

クロスワードパズル

出題：あさみ順子

と解けるかな？



タテのかぎ、ヨコのかぎの設問に答えてね。□の中の4つの文字を組み合わると、みんなが知っている言葉になるよ。頑張ってみてね。

キーワードは？



ヒント

都内唯一の区営遊園地はあらかわ〇〇〇〇です



タテのかぎ

- 今年の干支。あらかわ遊園のふれあいコーナーで会えます
- 紙などの数え方。「1〇〇、2〇〇」
- 間違った答えには×(バツ)、正しい答えには○
- 餃子のたれなどに入れる辛い油
- 海で潮を吹く大型の哺乳類
- コミックとも。歴史や経済、科学など、難しいことも〇〇で楽しく学習できます
- 季節の一つ。夏の次に来るのは
- 60分で1〇〇〇、24〇〇〇で1日
- 動物に与える食べ物
- 公園や庭園にある、水がたまっている所。湖より小さい

ヨコのかぎ

- ポニーとは小型の〇〇のこと。あらかわ遊園のどうぶつ広場で乗ることができます
- 寝るときに頭を乗せる寝具
- あらかわ遊園のスカイ〇〇〇〇は地上約5メートルの高さで1周を約3分で回れます
- 絹は蚕の〇〇から採れます
- 魔法のランプをこすって出てきた魔人と大活躍した青年
- 都電荒川線が止まる所は〇〇ではなく停留場と呼びます
- 学校で普段の授業以外に放課後などに行われる特別な授業を〇〇授業と言います
- 朝食はごはん派？ それとも〇〇派？

あらかわ 今昔ものがたり 日 [あらかわの歴史と伝説]

その144 南千住の地名「小塚原」にまつわる伝説

この春、新学期がスタートしてもう2か月、元気に学校に通っているかな。みんなの学校には、地元に関係のある名が付けられることが多い。例えば南千住のほとんどの小学校には「瑞光」という名が付いているね。この由来を知っているお友だちはいるかな？ そうそう、素盞雄神社(南千住六丁目)の瑞光石にちなんだ名だね。よく知っているね。

素盞雄神社の瑞光石 瑞光石は境内の小高い塚の上にお祀りされている。平安時代の延暦14年(795)に、石が光り出して、翁(男性のお年寄り)の姿をした二神(素盞雄大神・飛鳥大神)がそこに現れ、お告げによって素盞雄神社が創建されたと伝えられている。おめでたい兆しの光を放ったことから瑞光石と呼ばれるようになったそう。そして瑞光石が置かれた小塚から



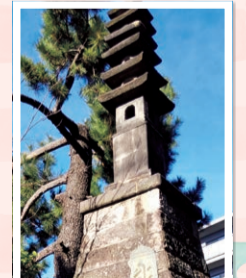
▲素盞雄神社の瑞光石

【問合せ】荒川ふるさと文化館 ☎(3807)9234



「小塚原」の地名が起きたと伝えているんだ。このことは江戸幕府が作った『新編武蔵風土記』やガイドブック『江戸名所図会』にも紹介され、江戸の人びとにも知られていたんだよ。

古い地名「小塚原」 「小塚原」は、熊野那智大社(和歌山県)の室町時代の古文書に登場するほど古い地名だ。南千住一・二丁目、南千住四～七丁目辺りがその範囲。江戸時代には日光道中(都道464号、通称コツ通り)に千住宿が置かれ、とても賑やかだったそうだよ。



▲円通寺の石造七重塔

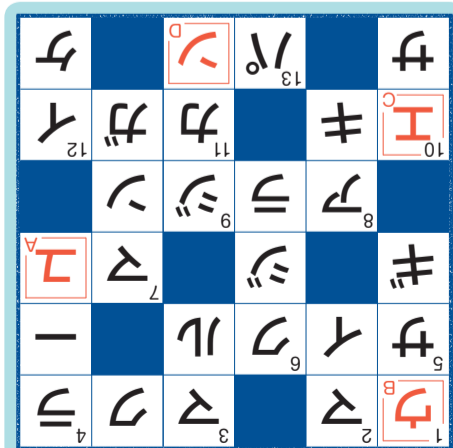
それからね、南千住一丁目の円通寺を調査していたら、境内の石造七重塔に円通寺の縁起と「小塚原」の地名伝説が刻まれていることが分かったんだ。それによると「この辺りは観音原と呼ばれていたが、源義家が後三年の役から京都に戻る途中、敵を供養するために四十八の小さな塚を築いた。そのため観音原を小塚原と呼ぶようになった」というお話だよ。

挑戦しよう！ クロスワードパズル

と解けたかな？



答え合わせ



あらかわ遊園は、リニューアルして1年が経ちました！もう遊びに行きたかな？



キーワード

